

平成16年6月10日
水産庁

第2期北西太平洋鯨類捕獲調査（沖合域）船団の出港について

1. 出港日時、場所

調査母船「日新丸」（7,659ト 遠山大介船長以下124名）

平成16年6月10日、広島県因島市

目視採集船「第二勇新丸（747ト 亀井秀春船長以下19名）」

平成16年6月10日、広島県瀬戸田町

「勇新丸」（720ト 小宮博幸船長以下21名）

「第一京丸」（812.08ト 松坂潔船長以下23名）

平成16年6月10日、山口県下関市

餌生物調査船「俊鷹丸」（887ト 小野田勝船長以下28名）

平成16年9月上旬、静岡県清水市清水港

2. 調査期間：

平成16年6月10日～9月下旬

3. 調査実施主体：

日本鯨類研究所（TEL：03-3536-6521）

水産総合研究センター遠洋水産研究所（TEL：0543-36-6000）

4. IWC科学委員会に提出した北西太平洋鯨類捕獲調査計画の概要は別添の通り。

問合せ先：水産庁遠洋課捕鯨班 諸貫、長友
代表 03(3502)8111 内線 7242
直通 03(3502)2443

北西太平洋鯨類捕獲調査の概要

1. 目的

鯨類の摂餌生態、生態系における役割の解明
鯨類及び海洋生態系に対する海洋環境(汚染物質、海況他)の影響調査
鯨類の系群構造の解明

2. 捕獲頭数

ミンク鯨 150頭(うち50頭は沿岸域調査)、ニタリ鯨 50頭、
マッコウ鯨 10頭、イワシ鯨 50頭

注：本年の IWC 年次会合（6月27日から7月22日）で捕獲頭数を見直し予定。

3. 調査海域：三陸沖からカムチャッカ半島南方水域

4. 調査時期：6月～10月

5. 調査船団：

沖合域：母船 1 隻、標本採集船 3 隻、目視専門船 1 隻、
餌生物調査船 1 隻

沿岸域(ミンク鯨 50頭)：小型捕鯨船 3 隻、餌生物調査船 1 隻、
目視調査船 1 隻

(参考)

	予定捕獲上限頭数	資源量
<u>(北西太平洋)</u>		
ミンク鯨	150頭	2万5千頭
ニタリ鯨	50頭	2万2千頭
イワシ鯨	50頭	2万8千頭
マッコウ鯨	10頭	10万2千頭